

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、このたび2022年3月期から2024年3月期までの3ヶ年の新・中期経営計画を策定いたしました。その概要を下記のとおりお知らせいたします。

1. 経営環境

これまで、日本国内、海外ともに総じて堅調な景気に支えられ、需要は概ね拡大基調にありました。一方、長期的には日本の人口減少に伴い、「需要総量」、「労働力」の漸減が予想されます。

短・中期的には、社会的な重要課題である環境負荷低減、足許で発生したコロナ禍による生活様式の急激な変化への対応が求められています。

2. 経営の方向性

当社グループは、小容量の液体包装分野において利用される包装機械「液体充填機 DANGAN」シリーズと、最適な包装性能を実現する高機能包装フィルムの双方を提供する唯一のメーカーとして、これまで様々な液体包装における経験と知見を蓄積してきました。

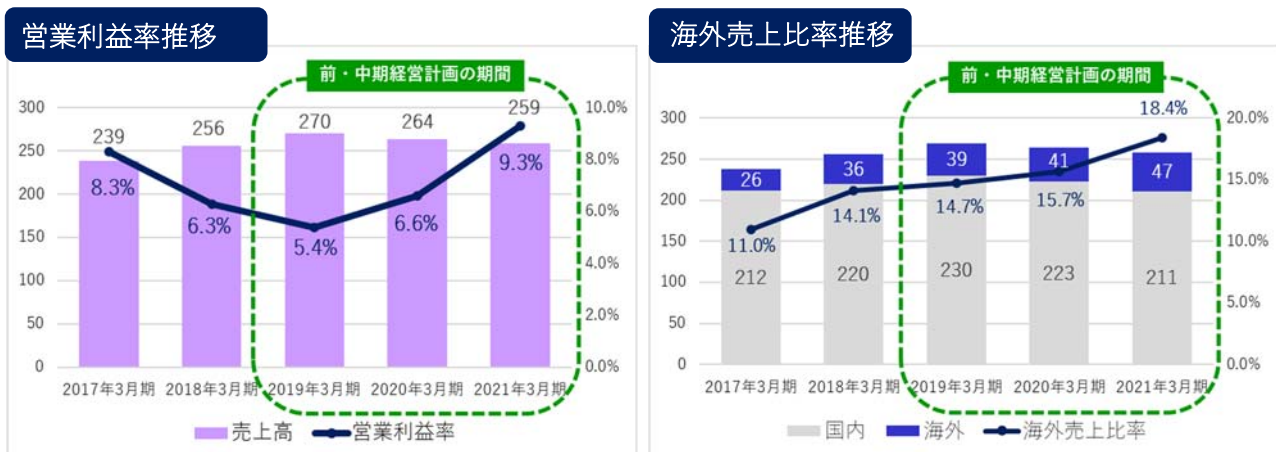
上述の経営環境を踏まえ、長期的視点から、経営リスクをコントロールしつつ持続的成長を実現する経営を目指し、「液体包装フィルム」「液体充填機械」「液体包装知見」をさらに融合・進化させ、お客様のニーズ及び社会のニーズに応じてまいります。

ビジョン

フィルムの製造販売にとどまらず
液体包装のプロフェッショナルとして、
刻々変化するお客様のあらゆる包装にかかわる課題を解決する
『総合エンジニアリングカンパニー』(注)を目指します。
(注)フィルムエンジニアリング・マシナリーエンジニアリング・プロセスエンジニアリングの総体

3. 前・中期経営計画の振り返り

▼連結業績推移



前中期経営計画 Global Departure2021 では、長期的な「利益の安定」と「持続的成長」を目指し、①国内事業の利益重視経営、②今後の成長の柱を担う海外事業の基盤作り、③新たなお客様・社会ニーズへの対応を進め、利益面での改善、海外売上比率の拡大等成果を出すことができました。

■国内事業

利益額・利益率の最大化

国内におけるニーズが量から質に変化しつつあることを受け、質の高い製品・サービスの提供に加え、不採算取引見直しも行った結果、営業利益率の改善につながりました。

■海外事業

新市場開拓

新たな成長戦略の柱として位置づけ、スピード感を重視した新規戦略を展開した結果、売上高は漸増、海外売上比率も2割弱程度まで拡大し、海外における事業基盤構築を進めることができました。

■新領域の立ち上げ

液体包装事業の新たな価値創造

当社が保有する液体包装の知見をもとに、「環境負荷低減」「生産性向上」等お客様及び社会のニーズに応える新たな提供価値の研究・開発を進捗させることができました。

4. 新・中期経営計画 2024 の基本方針

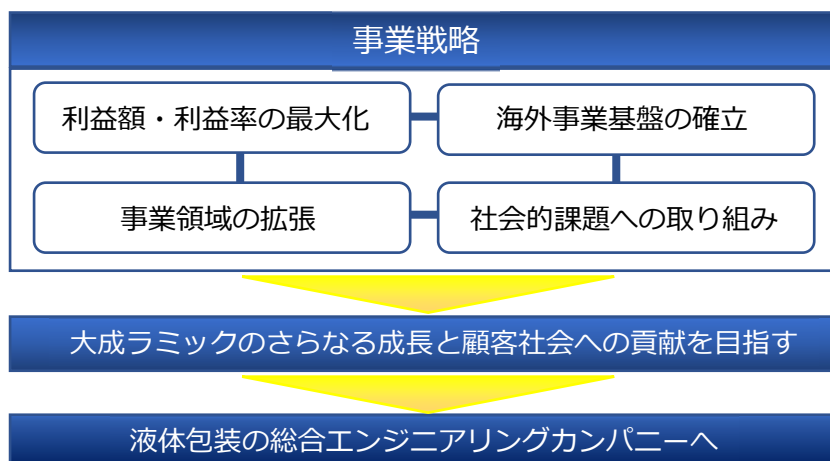
前中期経営計画で進めてきた経営の方向性は変えることなく、実現に向けてさらにスピードアップし、深化させてまいります。

新・中期経営計画 2024 基本方針

Shifting to the new Lamick and creating our new value

- 強みを活かした高付加価値商品・サービスの提供。
そして、コスト削減・効率重視による利益の最大化へ
- 常に変化する外部環境・顧客ニーズを敏感に捉え、
変化に対する機動性・敏捷性をもった事業態勢へ
- 包装を起点とする液体流通における“質”の向上を実現する
アイデアを創出、形にし、唯一無二のビジネスへ

5. 新・中期経営計画 2024 の概要



■国内事業

利益額・利益率の最大化の継続

量から質に変化しつつある国内ニーズに対し、強みを活かした付加価値の高い製品やサービスの提供を追求するとともに、競争力を高めるコストの最適化を中心とした採算改善をさらに進めます。

■海外事業

海外事業基盤の確立

これまで構築した各地域の事業基盤の上で、量のみならず質（利益を含む）の拡大を目指すフェーズに移行します。各地域特有のローカルニーズに合わせた戦略を策定・実行することで、量と質を兼備した事業の確立を行います。

■事業領域の拡張

液体包装事業の新たな価値創造～唯一無二のビジネスへ～

これまで研究・開発を進めてきた新たな価値づくりを発展させ、お客様の生産性向上へ貢献する液体包装ソリューションの具体的開発フェーズに移行し、確実に実用化に向けた取り組みを進めます。

■社会的課題への取り組み

持続可能な社会の実現へチャレンジ

フィルム・充填機械の両方を提供する唯一の企業として、「環境負荷低減」と「生産性・機能性」を両立するソリューション開発を推進します。

また、既に取り組んでおります輸送時のモーダルシフト推進や太陽光発電等に加え、当社グループの事業活動における CO₂ 削減への取り組みも継続します。

新・中期経営計画 2024

Shifting to the new Lamick and creating our new value

▼計数計画（連結ベース）

（億円）	2021年3月期 実績	2022年3月期 1年目	2023年3月期 2年目	2024年3月期 3年目
売上高	259	259	252	260
国内	211	215	212	216
海外	47	44	40	43
海外売上比率	18.4%	17.0%	15.9%	16.8%
営業利益	24	16	18	19
営業利益率	9.3%	6.3%	7.3%	7.6%

6. 株主還元方針

当社は安定的な利益還元を目指しております。

中長期的な内部留保を維持しつつ、将来の大成ラミックグループ全体のさらなる発展に向けて投資・強化を図りながら安定配当を継続していくことを基本方針とします。

（本資料に関する注意事項）

本資料に記載されている予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでいるため、将来の業績数値や施策の実現を確約・保証するものではありません。潜在的なリスクや不確実性等の業績に影響を与えうる要因については、経済情勢、需要動向、為替変動、原材料価格の変動等が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

以 上